



学校だより



千葉市立
みつわ台北小学校
10月号
(R7年10月2日)

行事で育つ子どもたち

校長 池内 哲夫

《50周年記念行事》

みつわ台北小学校では、創立50周年の記念行事が行われています。9月は「樹木プレート設置」を行いました。みつわ台北小学校には、100種類の樹木が植わっています。これは千葉市の小学校の中でも恵まれた環境です。しかし、子どもたちは身近にある樹木の名前をほとんど知らないようでした。

今回、樹木プレートを設置することで、これまで何気なく通り過ぎていた学校の樹木が子どもたちにとって身近なものになるきっかけとなればと願っています。そして、この取組がみつわ台北小学校創立50周年の「受け継がれる伝統・遺産（レガシー）」となることを期待しています。さらに、今月は周年行事として「バルーンリリース」や「50周年記念式典」を行います。

6年生は式典での発表に向けて、みつわ台北小学校の歴史を調べたり、みつわ台北小学校を支えてくださっている地域の方にインタビューしたりして学習を進めています。学習を通して、自分たちの学校や地域への郷土愛が育ってきています。学習の成果は記念式典の第2部で発表する予定です。

《初めての修学旅行》

9月末、6年生は箱根・鎌倉方面に「修学旅行」に行きました。千葉市ではこれまで6年生で「農山村留学」を実施していましたが、本年度より修学旅行となっています。

一日目は箱根に行きました。箱根関所を見学した後、大涌谷と彫刻の森美術館に行きました。その後、ホテルにて宿泊し、食事やレクリエーションを楽しみました。二日目は鎌倉に行き、鎌倉大仏や鶴岡八幡宮の見学や小町通りの散策を行いました。どこの観光地でも、6年生は公共の場や乗り物のマナーをよく守り、とても立派でした。

6年生が歩いた足跡がみつわ台北小学校の歴史となります。その後を5年生たちが歩み、伝統となっていきます。

これから学校では「陸上大会」や「運動会」「6年生を送る会」等多くの行事が計画されています。行事には教室では学べないことが多くあります。友達と一つの目標に向かう楽しさや困難に立ち向かい乗り越える喜びなどを味わいながら成長する子どもたちを、しっかりと支援していきます。

写真

写真

写真

写真

写真